

古文書演習 ～江戸時代の古文書を深く学ぶ～

授業の目的と概要

「くずし字」の基礎的な解読力が身に付いた者を主な対象として、専門的な解読力を身につけることを目的として開講する。

古文書の画像をテキストとして、「くずし字」解読のトレーニングを行うと共に、古文書や日本史に関する専門的な知識を習得する。

古文書の画像をテキストとして配布し、解読の方法を実践的に学習する。具体的には、解読を行う箇所をあらかじめ指示するので、受講者は予習してきた内容に基づいて解読文を順番に板書する。教員が添削した上で、解読文についてのディスカッションと内容の解説を行う。こうした輪読形式でテキストを読み進めることを通じて、「くずし字」の専門的な解読能力を身に付ける。

担当教員	経済学部 青柳 周一 教授
開講曜限	木曜日 2限 (10:30～12:00)
開講日	10月2、9、16、23、30
	11月6、13、20、27
	12月4、11、18、
	1月8、15、22
会場	彦根キャンパス
受講形態	授業は対面で実施する。 変更等ある場合は、SUCCESSなどを通じて早めに周知する。
教科書情報 (補足)	参考書：『くずし字解読辞典 普及版』／児玉幸多著、東京堂出版、1993。必ず購入すること。 参考文献一覧：より詳しく古文書を学習したい場合は、『くずし字用例辞典』がある。 その他、古文書の内容と関わる歴史的な事項については『国史大事典』ほか歴史辞書類を参照。図書館で閲覧するか、Japanknowledge Libでも検索できる。